

補助事業番号 24-4-059

補助事業名 平成24年度 (復興支援) 被災者に対する生活支援活動 補助事業

補助事業者名 (学) 聖学院大学

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

釜石市北部の漁村では、東日本大震災の大津波により、漁港施設、漁船、養殖施設に甚大な被害を受けた。海岸沿いの住宅も全壊し、釜石東部漁協管内の8つの漁村のうち、2か所では集落全体が消滅した。漁業復興に向けた取り組みが徐々に進んでいるが、体験型漁業の再開や水産物の加工食品の開発など、漁業の付加価値を高める方策が求められている。そこで、本事業は、体験型漁業の再生の検討し、水産加工品を提示することにより、漁業の復興に弾みをつけることを目的とした。

(2) 実施内容

①釜石東部漁協管内の漁業の把握

釜石市の3つの漁業組合のうち、最も北に位置する東部漁協の業務内容や組織、組合員の状況、漁業の内容(手法や主な海産物)、漁業復興の見通しなどについて、組合事務所に聞き取り調査を実施した。また、比較対象として、宮古市の重茂漁業協同組合に対しても同様の事項を調査した。



桑の浜漁港の復興状況 (2012.5)



津波の被害を受けた釜石東部漁協の事務所 (白浜)



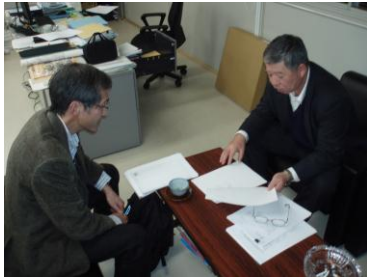
仮設テントでのホタテ養殖作業の再開（両石）

②漁業関係者を対象にした聞き取り調査

釜石東部漁協管内の8つの漁村（両石、根浜、箱崎、片岸、白浜、室浜、桑の浜、仮宿）において、主に養殖漁業に携わっている漁師29名を対象に、震災前の漁業の状況、今後の漁業の見通し、体験型漁業の経験の有無と再開の見通し、浜の料理、漁業の課題などについて聞き取り調査した。また、漁協の女性部員5名に対しても、浜の料理や女性部の活動などについてインタビューした。

別途、下記のような組織などに聞き取り調査を実施した。

インタビュー先	主な調査内容
A&Fグリーン・ツーリズム委員会	過去の体験漁業と今後の再開の見通し
岩手県水産技術センター	水産物の加工研究の実績と今後の加工品開発に対する支援の可能性
水産加工会社（小野食品、近藤食品）	主な製品
三陸鉄道	加工品販売に関する協力の可能性
パイロットフィッシュ（食品開発コーディネーター）	加工品開発の手法・プロセス
三陸人つなぎ自然学校	エコツーリズムの内容と復興支援ボランティアの状況
宝来館	体験型漁業



釜石東部漁協組合長との打ち合わせ



被災した漁師への聞き取り調査

③釜石市への聞き取り調査

下記の釜石市役所の関連部署を対象に聞き取り調査を行った。

インタビュー先	主な調査内容
復興推進本部	漁村・漁港などの復興計画
水産農林課	釜石の漁業及び水産加工の特徴と復興の見通し
観光交流課	過去の体験型漁業と今後の再開の見通し
教育委員会生涯スポーツ課	子どもの漁業体験
鵜住居地区生活支援センター	被災者の状況

④観光関連施設（宿泊、飲食など）の再建予定に関する調査

ホテル、旅館、民宿、飲食店の再開及び新設などについて、関係者にインタビューした。

また、各漁村において、大震災により高齢化に伴う問題が一層深刻化する恐れがあることも確認し、当初設定した課題に関連して、次のような事項の提案も行った。

①新しい体験型漁業

体験型漁業のメニューを増やすことにより観光客を増加させるため、養殖漁業をより深く体験するメニューを提案した。

②子ども漁業体験

漁業の後継者を育てるため、小学生を対象に養殖漁業を体験するプログラムを提案した。

③漁業ボランティア受け入れシステム

今後も引き続きボランティアをスムーズに受け入れるために、漁業ボランティアに関する考え方を整理し、それを対外的に示すとともに、受け入れ窓口の一本化を図ることを提案した。

④観光イベント

漁村の復興をアピールするため、復興の浜市やつり大会の再開を提案した。

⑤三貫島・千畳敷・奇岩ツアー

小型のサップ船などで海のツアーを実施することにより、スリルを味わいながら海岸などに近づき、より魅力のある観光を提供するため、調査対象地域の観光資源を活用したツアーを提案した。

⑥浜の料理に関する調査と活用

高齢化の進展に加え、震災により、伝統料理が引き継がれない恐れもあるため、これらの料理の洗い出し、共有化を図った上で、浜の料理教室・ワークショップや浜対抗料理コンテストを行うことを提案した。



NPO法人釜石東部漁協管内復興市民会議への報告書の説明

2 予想される事業実施効果

本事業の報告書を参考に、体験型漁業が再開・拡充され、それが観光客を呼び込み、漁村のにぎわいを取り戻すことにつながる。また、水産加工食品の研究が開始され、食品の製造、販売に結び付くと、雇用の確保と収入の増加がもたらされる。その他の提案に関しても、できることから詳細な検討を進めることが期待される。これらの活動を行うことにより、釜石市東部の漁業の復興、漁村の再生につながると思われる。

3 本事業により作成した印刷物等

「おはこざき地域の漁業・漁村の復興に向けて」(聖学院情報発信システムSERVE)
(<http://www.seigakuin.jp/index.htm>)

4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 聖学院大学(セイガクインダイガク)

住 所： 〒362-8686

埼玉県上尾市戸崎1-1

代 表 者： 教授 平 修久(フリガナ)

担 当 部 署： 政治経済学部(セイジケイザイガクブ)

電 話 番 号： 048-780-1894

F A X： 048-780-1804

E - m a i l： n_taira@seigakuin-univ.ac.jp

U R L： <http://www.seigakuin.jp/index.htm>